

## 令和5年度 第2回 館山市子ども・子育て会議 要録

1 委員会名 館山市子ども・子育て会議

2 日時 令和6年1月10日(水)10:00~11:30

3 会場 菜の花ホール第一集会室

4 出席委員 石渡委員長、中島副委員長、齋藤委員、石井委員、中村委員、押元委員、  
田中委員、清宮委員、鈴木健一委員、吉井委員、石垣委員、鈴木ひとみ委員、古谷  
野委員、土岐委員

5 事務局 教育部長、こども課長、副課長(幼保係長)、家庭児童係長、  
子育て支援係長、岡田主任主事、黒川主事、小野寺主事

6 会議次第

1 開 会

2 議 事

(1)第3期子ども・子育て支援事業計画の策定について  
(ニーズ調査のアンケート内容について)【資料①、②】

(2)館山白百合幼稚園の認定こども園化について【資料③】

3 報 告

・北条地区でのこども園化の推進について

4 質疑・意見交換

5 閉 会

## ■議事

(1) 第3期子ども・子育て支援事業計画の策定について（ニーズ調査のアンケート内容について）【資料①、②】

- ・子育て支援係長より概要説明 1/17 まで意見募集期間
- ・株式会社ぎょうせいより調査票設計内容の説明

## ■意見交換の詳細

(石垣委員)

- ・子どもの貧困は、大きな社会問題なので、行政でしっかり取り組んでほしい。

(齋藤委員)

- ・アンケート調査票未就学児P.3 問9-2について、心身・体力に関するニュアンスを選択肢に入れてはどうか。
- ・未就学児P.7 問17 介護などの専念できない理由を聞ける設問にしてはどうか。
- ・未就学児P.10 問21 元気な広場について、親子とは限らないので表現を検討してはどうか。
- ・未就学児P.10 問23 SNSと一言で言ってもいろいろな種類があるので、フェイスブックやインスタグラム、ラインなど個別に聞くのはどうか。
- ・未就学児P.14 問27-1 「利用する必要がない」という表現が強いのではないか、また「知らない」の選択肢もあってもいいのではないか。
- ・小学生P.1 問4 市学区外に通っている小学生はどうするか。
- ・小学生P.4 問14 「利用する必要がない」という表現が強い、「利用したくない」でもいいのでは？誘導している感じに見える。
- ・一保護者として学童が足りていないと感じている。

(こども課長)

- ・アンケートの表記については、いただいた意見をもとに再度事務局で検討させていただく。
- ・学童クラブについては、地区によって家族構成などの違いから、足りているところと足りていないところがあると考えている。

(土岐委員)

- ・アンケート調査票小学生P.4 問14 「利用したいかどうか」という設問なのに、「利用する必要がない」という選択肢になっているので意図が異なっているかもしれない。

( (株) ぎょうせい )

- ・調査票全体の設計として、「利用したいかどうか」という視点だと必要以上にニーズが膨らんでしまうので、「必要があるかどうか」という視点になっている。

(鈴木ひとみ委員)

- ・館山市は学校再編が進んでいて、幼保の再編も進んでいくと思う。そういった関連の設問があれば、例えばスクールバスなど、再編に伴いニーズが増えていくのではないかと。

(こども課長)

- ・このアンケート調査は国の標準設問に基づいて設計しているので、その点については別途個別に聞く予定。

(鈴木ひとみ委員)

- ・アンケート調査票小学生P.6 問19 交通ルールの順守について、歩いているときの交

通ルールの順守についても触れてはいかがか。

(こども課長)

- ・表現については検討させていただく。

(鈴木ひとみ委員)

- ・未就学児P.18 問34の回答はなぜ3つまでなのか。

(こども課長)

- ・経年比較を踏まえると回答は3つまでとなる。

(石渡委員長)

- ・館山市の施策を考えるにあたっての調査であることを踏まえてほしい。

( (株) ぎょうせい)

- ・アンケート調査票未就学児P.18 問34以降が市の取組についての独自設問として設定している。

(吉井委員)

- ・経年という視点で見れば、選択肢に順位をつけてもらうことが解決できるのではないか。

( (株) ぎょうせい)

- ・集計が複雑になる割にはあまり効果が得られない可能性もあるが、検討させていただく。

#### ■ 議事

(2) 館山白百合幼稚園の認定こども園化について【資料③】

- ・こども課副課長概要説明
- ・白百合学園長 石垣委員から説明

#### ■ 意見交換の詳細

質疑なし

#### ■ 報告 (北条地区での認定こども園化の推進について)

- ・こども課副課長から報告

#### ■ 質疑・意見交換

(田中委員)

- ・数珠玉を使ったお手玉をこども課に寄贈したことが新聞記事に掲載され、更に数珠の寄付を受けた。
- ・オーガニック和綿を育てるプロジェクトを各小学校で実施している。

(子育て支援係長)

- ・お手玉は公設の学童クラブに配布させていただいた。

(石垣委員)

- ・園を存続させるために認定こども園化を進めた。卒園児に感謝されており、続けるべきだという使命を持っている
- ・幼稚園は県の管轄なので、これまで市との関わりがあまりなかったが、こども園化により市との関わりが増えた。

(鈴木ひとみ委員)

- ・少子化が進んでいる中で、子育て環境を見直さなければならない時期なのではないか。
- ・計画も前回の踏襲ではなく、今後のことを考えて策定していただきたい。